

「緩和ケア病棟に初回入院するがん患者のビタミンB1欠乏とその発症要因に関する研究」に関するお知らせ

このたび、丸木記念福祉メディカルセンター 緩和ケア病棟で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学国際医療センターIRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2023年12月31日の期間に【丸木記念福祉メディカルセンター 緩和ケア病棟】に初回入院し、入院当日に採血検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

最近の研究により、がん患者さんにおけるビタミンB1（以下VB1）欠乏例の報告が増えつつあります。しかし、緩和ケア病棟に入院したがん患者さんのVB1欠乏割合は1994年にオーストラリアで最初に報告されたのみであり、食習慣の異なる東洋圏における緩和ケア入院患者さんの欠乏割合および発症にかかる要因は明らかにされていません。

今回、丸木記念福祉メディカルセンター緩和ケア病棟に初回入院するがん患者さんのVB1欠乏割合を明らかにし、その背景因子を探ることを目的とします。対象とするがん患者さんのVB1欠乏割合とその発症に関与する因子が判明すれば、VB1欠乏症治療法の進歩に寄与することとなり、本研究の有する意義は大きいことが予想されます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

血液・生化学、診療記録を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、【丸木記念福祉メディカルセンター】において、研究責任者である大西秀樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

丸木記念福祉メディカルセンター緩和ケア病棟で、初回入院したがん患者さんの入院当日に採血検査を実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター	精神腫瘍科	大西 秀樹（研究代表者）
・埼玉医科大学国際医療センター	精神腫瘍科	石田 真弓
・埼玉医科大学国際医療センター	精神腫瘍科	伊東 洋
・埼玉医科大学国際医療センター	支持医療科	高橋 孝郎
・埼玉医科大学国際医療センター	救命救急科	大谷 義孝
・埼玉医科大学国際医療センター	緩和医療科	内田 望
・丸木記念福祉メディカルセンター	薬局	佐藤 良太
・三菱京都病院	腫瘍内科	吉岡 亮
・長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	臨床疫学分野	佐藤 泉美
・杏クリニック		鬼澤 信之

4. 試料・情報の管理責任者

【丸木記念福祉メディカルセンター】 薬局 佐藤良太

5. 試料・情報の提供について

なし

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはできません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・研究計画や研究実施に関する手続きの相談、研究により得られた結果等に関する相談がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 大西秀樹（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：緩和ケア病棟に初回入院するがん患者のビタミン B1 欠乏とその発症要因に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 大西 秀樹